

| | | | | | |
|-----|-------|-----|-----|---------|------|
| 科目名 | 現代の国語 | 単位数 | 2単位 | 実施予定授業数 | 70時間 |
|-----|-------|-----|-----|---------|------|

☆学習の到達目標

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | <p>(1)【知識・技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)【思考力・判断力・表現力】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)【主体的に学習に取り組む態度】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
| 使用教科書・副教材等 | <p>教科書：現代の国語（数研出版）</p> <p>補助教材：音訓別重要頻出漢字リアルマスター（尚文出版）進研WINSTEP現代文1（ランズ）</p> |

☆学習計画および評価方法

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい（評価規準） | 時数 | |
|-----------------|---|-----|--|----|--|
| 1 | 【評論】社会と文化 / 「水の東西」 (ズームアップ「文化」) | 4 | <p>(1) 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <p>(2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>(3) 筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</p> | 4 | |
| | 【表現】問題を提起する / 「感情暴走社会の由来」 | 5 | <p>文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、筆者の文章を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。</p> | 4 | |
| | 【実用文】目的に合わせて表現を工夫する | 5 | <p>(1) 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。</p> <p>(2) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>(3) 実用的な文章の身近な事例を積極的に調べ、学習課題に沿って適切な形式の文章を用いてまとめようとしている。</p> | 3 | |
| | 1学期中間考査 | | | | |
| | 【評論】新しい視点 / 「ポスト・ブライバシー」 (ズームアップ「情報とメディア」) | 5・6 | <p>(1) 推論の仕方を理解し使っている。</p> <p>(2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>(3) 筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。</p> | 4 | |
| | 【評論】対比する / 「デジタルメディア時代の複製」 | 6 | <p>(1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>(2) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>(3) 筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って条件に即した形で論述しようとしている。</p> | 4 | |
| | 【実用文】資料を分析して考えをまとめる | 6 | <p>情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</p> <p>課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。</p> | 3 | |
| 1学期期末考査 | | | | | |
| 【知識・技能】 | ○定期テスト（80%）○小テスト（20%） | | | | |
| 【思考・判断・表現】 | ○定期テスト（80%）○課題及びレポートの記述内容（20%） | | | | |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | ○課題及びレポートの記述内容（40%）○生徒による自己評価（40%）○発表・討論における相互評価（20%） | | | | |
| 【1学期の評価方法】 | 【知識・技能】40%【志向・判断・表現】40%【主体的に取り組む態度】20% | | | | |

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい(評価規準) | 時数 | |
|-------------------------|---|--|--|----|--|
| 2 | 【評論】ことばの働き/「ものことば」(ズームアップ「言語論入門」) | 7 | (1) 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 (2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 (3) 筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 | 3 | |
| | 【表現】考えを表す/賛否を述べる/「命は誰のものなのか」 | 8・9 | (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 (2) 「書くこと」において、意図に応じて書かれているかを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 (3) 筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。 | 4 | |
| | 【実用文】課題を発見し解決策を発表する | 9 | (1) 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 (2) 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 (3) 課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。 | 4 | |
| | 2学期中間考査 | | | | |
| | 【評論】環境と科学/「動物園というメディア」(ズームアップ「環境問題のこれから」) | 10 | 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って発表しようとしている。 | 3 | |
| | 【評論】環境と科学/「自然との連帯」 | 10 | (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 (2) 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 (3) 二つの論理的文章を積極的に比較考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 | 4 | |
| 【表現】解釈を述べる/「事実なのか考えなのか」 | 11 | (1) 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 (2) 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 (3) 読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、学習課題に沿って条件に即した文章をまとめようとしている。 | 4 | | |
| 2学期期末考査 | | | | | |
| 【知識・技能】 | | | ○定期テスト(80%) ○小テスト(20%) | | |
| 【思考・判断・表現】 | | | ○定期テスト(80%) ○課題及びレポートの記述内容(20%) | | |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | | | ○課題及びレポートの記述内容(40%) ○生徒による自己評価(40%) ○発表・討論における相互評価(20%) | | |
| 【2学期の評価方法】 | | | 【知識・技能】40% 【志向・判断・表現】40% 【主体的に取り組む態度】20% | | |

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい(評価規準) | 時数 | |
|-----------------|---|-----|--|----|--|
| 3 | 【評論】人間と時間 / 「時間と自由の関係について」(ズームアップ「近代と時間の関係」) | 11 | (1) 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 (2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 (3) 同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。 | 4 | |
| | 【表現】具体例を示す / 「動的平衡の回復」 | 12 | (1) 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 (2) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にまとめている。 (3) 筆者の意見に基づいて実社会における事象を積極的に考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 | 4 | |
| | 【実用文】コミュニケーションの手段を考える | 12 | (1) 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 (2) 「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して、伝え合う内容を検討している。 (3) 文章と資料が示す内容をあわせて理解し、具体的事例を用いて積極的に考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 | 3 | |
| | 実力テスト | | | | |
| | 【評論】認識の枠組み / 「他者を理解するということ」(ズームアップ「自己と他者の理解とは」) | 1・2 | (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 (2) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 (3) 論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 | 4 | |
| | 【表現】意見を述べる / 「無痛化する社会のゆくえ」 | 2 | (1) 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 (2) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 (3) 関連する二つの論理的文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 | 4 | |
| | 【実用文】文章の構成を工夫して提案する | 2 | (1) 実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (2) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 (3) 課題資料を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らし、学習課題に沿って適切に資料を作成しようとしている。 | 3 | |
| | 学年末考査 | | | | |
| | 【評論】新しい視点 / 「政治的思考」 | 3 | 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法などを理解し、文章の中で使うことを通して語彙を豊かにしている。 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 | 2 | |
| | 【評論】新しい視点 / 「未来をはじめ」 | 3 | (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 (2) 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 (3) 異なる種類の文章を積極的に読み比べて、それぞれの筆者の立場を理解したうえで、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 | 2 | |
| 【知識・技能】 | ○定期テスト(80%) ○小テスト(20%) | | | | |
| 【思考・判断・表現】 | ○定期テスト(80%) ○課題及びレポートの記述内容(20%) | | | | |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | ○課題及びレポートの記述内容(40%) ○生徒による自己評価(40%) ○発表・討論における相互評価(20%) | | | | |
| 【3学期の評価方法】 | 【知識・技能】40% 【志向・判断・表現】40% 【主体的に取り組む態度】20% | | | | |